

# 勝田中学校コミュニティ・スクール（輝けかつたっ子CS）

## 令和6年度 第1回学校運営協議会

令和6年5月8日（水）18:30

勝田中学校 会議室

全体進行：教頭

欠席：絹田委員

### 1 開会

### 2 開会あいさつ（校長）

●植月校長よりあいさつした。

### 3 学校運営協議会委員の任命

●校長先生より説明した。

【令和6年度勝田中学校運営協議会委員】

|    | 氏名     | 所属（役職）等          |
|----|--------|------------------|
| 1  | 植月 慎二  | 勝田中学校（校長）        |
| 2  | 山本 美佳  | 勝田中学校（教頭）        |
| 3  | 福島 信夫  | 地域住民（元教員）        |
| 4  | 鷹取 勝也  | 地域住民（元PTA会長）     |
| 5  | 新免 美紀恵 | 地域住民（元主任児童委員）    |
| 6  | 絹田 孝江  | 地域住民（主任児童委員）     |
| 7  | 坂元 秀明  | 地域学校協働活動推進委員     |
| 8  | 鈴 京平   | 勝田中PTA（会長）       |
| 9  | 有賀 淑人  | 勝田中PTA（副会長）      |
| 10 | 岸本 浩幸  | 勝田総合支所（支所長）      |
| 11 | 松本 基   | 勝田地区民生委員児童委員（会長） |
| 12 | 長畑 千恵子 | 主任児童委員（勝田地区代表）   |

●自己紹介を行った。

### 4 会長及び副会長の選出

●校長先生より選出し、承認後、会長・副会長が、あいさつした。

会 長：鷹取勝也さん

副会長：鈴 京平さん（PTA会長）

## 5 規約について（別紙）

●教頭より説明し、内容を確認した。

## 6 協議（議事進行：会長）

### （１）生徒の現状と課題について（学校より）

●校長が説明した。

### （２）令和６年度の学校運営基本方針の説明と承認

＊学校経営計画、学校経営アクションプラン（別紙）

●校長が説明した。

●質問、意見なし。

●賛成多数により、承認された。

### （３）各所属団体の年間予定について

＊子どもの達に関係する取組や活動、及び行事

●勝田地区民生委員児童委員の活動内容について報告あり。

・年一回の勝田中学校校内草刈り作業５／１９

※PTA、学校支援ボランティアとも協力して実施する。

・勝田中学校校門前でのあいさつ運動５／１３

・学校訪問

●PTAより、活動についての報告あり。

・PTA会員数が減ってきているが、工夫しながら活動を継続していく。

地域の方の学校行事への参加もぜひお願いしたい。

### （４）意見交換

#### 【目指すかつたっ子像】

＊アンケート結果参照（別紙）

＊どんなかつたっ子になってほしいか？

●２グループに分かれて、付箋を使いながら意見交流した。

●意見交流内容は、別紙参照。

#### 【学校課題に対する地域の連携と協力体制】

●今後の活動を通して進めていくことを確認した。

(5) その他

●教頭より、学校行事及び日常の教育活動等を来校して見ていただくことを確認した。

【学校行事について】

- 5/13(月) プール掃除、勝田中学校区合同引き渡し訓練
- 5/17(金) 美勝英支部総体
  - 卓球：みまさかアリーナ
  - 剣道：英田中学校体育館
  - 柔道：勝央中学校体育館
- 5/19(日) 民生委員、PTA、学校支援ボランティア 校内草刈り作業
- 6/1(土) 第53回運動会 9:00開会(午前中開催)
- 6/11(火)、12(水) 学校公開日
- 6/14(金) 1年閑谷研修
- 6/20(木)・21(金) 期末テスト
- 6/21(金) 小中合同クリーン活動
- 6/26(水) 小中合同人権講演会
- 6/28(金)、29(土) 美作地区総体
- 7/2(火) 研究授業〔道徳〕6校時

7 次回開催について

●教頭より、次回の開催について確認をした。

【第2回学校運営協議会】

年間行事予定では、令和6年8月7日(水)18:30の予定だったが、令和6年8月6日(火)の午後、美作市教育委員会主催の研修会参加後に、引き続き勝田中学校学校運営協議会の開催する。詳しい日程については、後日案内文書を配布する。

【第3回学校運営協議会】

令和6年11月13日(水)午後開催(授業参観後に会を開催する)

【第4回学校運営協議会】

令和7年2月12日(水)18:30

8 閉会あいさつ(会長)

●鷹取会長よりあいさつした。

# めざす かつた子像

# めざすかったっ子像

他国の方時々自分を疑い  
ながら入国して来ている。  
他国の事情などもよくある  
よに聞いてほしい。

学年にあてはまがたが  
もちろん元気に積極的  
でいてほしい。

① 真面目な子  
② 努力家の子  
③ かっこいい出来る子

自分の意見も声を出して  
言える子がいいと思う。

想像力豊かの人にな  
ってほしい。

お話を聞かずにお話  
の中心をずらす人になら  
ない。

(目的)

第1条 この規則は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という）について、必要な事項を定める。

(趣旨)

第2条 協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、美作市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や勝田中学校生徒の健全育成に取り組むものとする。

(設置)

第3条 美作市学校運営協議会設置等に関する規則に準じ、本校に美作市立勝田中学校運営協議会を設置する。

(学校運営に関する基本的な方針の承認)

第4条 校長は、次の各号に掲げる事項について毎年度基本的な方針を作成し、協議会の承認を得るものとする。

- (1) 教育課程編成に関すること
- (2) 学校運営に関すること
- (3) 組織編成に関すること
- (4) その他（施設設備等）に関すること

2 校長は、全校において承認された基本的な方針に従って学校運営を行うものとする。

(学校運営等に関する意見の申し出)

第5条 協議会は、勝田中学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して意見を述べることができる。

2 協議会は、第2条に定める趣旨を踏まえ、勝田中学校の職員の採用その他の任用に関し、教育委員会に意見を述べるができる。

3 協議会は、前2項の規定により教育委員会に意見を述べるときは、あらかじめ、勝田中学校の校長の意見を聞くものとする。

(委員の任命)

第6条 協議会の委員は15名以内とし、次の各号に掲げる者のから、教育委員会が任命する。

- (1) 保護者
- (2) 地域住民
- (3) 対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 対象学校の校長
- (5) 対象学校の教職員
- (6) その他、教育委員会が適当と認める者

- 2 勝田中学校の校長以外の委員については、校長が教育委員会に推薦することができる。
- 3 委員の辞職等により欠員が生じた場合には、新たな委員を任命することができる。ただし、校長が新たな委員を任命するに当たっては、事前に教育委員会と協議を行う。

(委員の身分)

第7条 協議会の委員は、特別職の地方公務員の身分を有する。

(守秘義務)

第8条 委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

- 2 委員は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。
  - (1) 委員としてふさわしくない非行を行うこと
  - (2) 委員としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用すること。
  - (3) その他、協議会及び対象学校の運営に著しく支障をきたす言動を行うこと。

(任期)

第9条 委員の任期は1年ごととし、再任を妨げない。

- 2 第6条第3項の規定により、年度途中で新たに任命された委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)

第10条 協議会には、会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長が会議を招集し、議事をつかさどる。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長が欠けたときは、会長に代わり職務を行う。

(会の開催等)

第11条 協議会は、年間3回程度行う。会長が開催日前に招集する。ただし、緊急を要する場合においては、この限りではない。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、同数の時は会長の決するところによる。
- 4 協議会の議決に利害関係を有する委員は、当該事項について議決権を有しない。
- 5 校長が必要と認めるときには、委員以外の教職員等を出席させることができる。

(会議の公開等)

第12条 協議会は、特別の事情が無い限り公開とする。ただし傍聴としようとする者は、参加委員の了承を得なければならない。

- 2 協議会は、全体の活動状況及び成果等を保護者・地域住民に学校HPや学校たより等にて公表するように努めるものとする。

(規則の改正)

第13条 協議会規則の改正については、本会で協議し、委員の過半数の承認を得るものとする。

附則 この規約は、令和6年4月1日から施行する。

# 令和6年度 美作市立勝田中学校 学校経営計画書

## 1 本校のミッション（使命、存在意義）

四季折々に彩りを変える中国山地の山懐に抱かれた本校は、豊かな自然の恵みと穏やかな風土に支えられ、長い歴史を刻んできた。幾たびかの統廃合を繰り返して今日に至っているが、今も変わらぬ地域からの温かいまなざしが本校を支えている。そうした勝田の風土を十分に理解しながら、地域を愛し、地域から愛される子どもの育成を軸として、かつたっ子に自分の夢と人生を切り拓く確かな学力と豊かな心、社会をたくましく生き抜く力を身につけることが本校の使命である。保護者や地域の期待と信頼に応え、ふるさと勝田を誇りに思い、広い世界でも積極的に社会貢献を果たす生徒を育てる責務を果たすことにある。そのために、教職員がチームかつたの仲間として手を携え、授業改革や信頼に値する教育実践に励むことで、学校力向上を実現したい。

## 2 内外の環境分析

- ・緑豊かな美しい自然に恵まれ、落ち着いた環境のもとで学習に励むことができる。
- ・素直で明るい生徒たちは、日々の授業やさまざまな学習活動、学校行事にひたむきに取り組んでいるが、小集団のため人間関係が固定化している、自信がなく自己肯定感が低い、周囲と良好な人間関係が築けないという課題がある。
- ・学力の定着や主体的に学び、学力を高めようとする意欲、家庭学習の習慣形成には個人差があり、課題のある生徒は少なくない。
- ・生徒自らが広い視野を持って新しいことに挑戦しようとする気概や課題に直面したときの自己解決力が弱く、社会的自立に向けて学校が果たすべき役割は大きい。これからの社会を生き抜くたくましい力を身につけさせ、高い目標に向かって粘り強く努力し、自立する気風を培う必要がある。
- ・保護者や地域の方々の学校を見守る視線は温かく、学校や教師による指導に期待する気持ちは強い。
- ・学校に対する不信感を生まないように、全教職員共通した毅然とした指導や凡事徹底、教育職員としての高い意識が求められる。

## 3 本校のビジョン（将来像、目指す姿）

学校教育目標『夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく生き抜く力を育む』

～学びをひらく 心をひらく 未来をひらく～

### 〈指導の重点〉

- 未来を切り拓く“知力” ～「知性」を磨く～
  - ・主体的に学びに向かう生徒のやる気を引き出す授業 〈向上心と夢〉
- 人生を支える“心力” ～「感性」を養う～
  - ・豊かな感受性と思いやり ・いじめを許さない強い心 〈克己と強い意志〉
- 社会を生き抜く“耐力” ～「耐性」を鍛える～
  - ・堅固な規範意識 ・たくましく粘り強い姿勢 〈自律と責任〉

めざす学校像 「生きる力を育み、地域に信頼される活力に満ちた学校」

- ・生徒も教職員も、活気・自信・誇りのある学校

めざす子ども像「自己実現に向け、ひたむきにがんばろうとする生徒」

- ・ひたむきに学ぶ
- ・ひたむきに考える
- ・ひたむきに行動する
- ・ひたむきに前進する

めざす教職員像「チームとして協働する凜とした教職員」

- ・毅然とした姿勢
- ・生徒の力を伸ばす指導
- ・首尾一貫、徹底した組織的な指導
- ・生徒に寄り添う指導

#### 4 学校経営方針

仲間と協働しながら、主体的に考え活動しようとする生徒の育成

#### 5 計画

##### (1) 確かな知力を育てる学校 〈知力〉

###### ①生徒のやる気を引き出す授業づくり

○ICT 機器を有効に活用し、情報化社会（Society 4.0）から、一步進んだこれからの社会（Society 5.0）を生き抜いていくために**つながり**を大切にしていく。

- ・授業がわかり、問題を解決きるといった成就感、達成感をもたせるために個に応じた指導や授業のUD化だけでなく、生徒同士が学び合い学習に取り組み**つながる授業**を積極的に取り入れる。

###### ②生徒の学力をつける授業づくり

- ・授業規律の徹底を図る。
- ・反復やスモールステップの定着度確認と家庭学習の習慣化
- ・正解だけでなく、そこに至るまでの過程や理由が深まりのある授業

###### ③教師の力を伸ばす授業づくり

- ・校内外の研修で、生徒の心をつかみ、確実に力をつける「授業力」を高める。  
校内研修テーマ：インクルーシブ教育の視点に基づいた知力・心力・耐力を鍛える教育活動の実践  
～きける・できる・**つながる** かつたっ子を育てる～

##### (2) 豊かな心を培う学校 〈心力〉

###### ①互いに認め合い、支え合い、高め合う支持的風土の学級集団づくり

○よりよい人間関係や社会生活を意識した、人と関わりながら、**つながって**生きていくために欠かせないスキルを身につける。（SSEの推進）

###### ②いじめを許さない学校づくりを実現する道徳教育・人権教育の推進

- ・人権意識を磨き、豊かな人格形成を図る。
- ・違いを認めあいながら高め合うことのできる集団を育成する。

###### ③ふるさと勝田に貢献することのできる人づくり

- ・ふるさとを知り、ふるさとを尊重する気風を育てる。

##### (3) 健やかで忍耐力のある心身を磨く学校 〈耐力〉

###### ①社会生活に通用する、規範意識の確立と自立の実現（凡事徹底）

- ・キャリア教育の視点を通して、自己実現に向けて努力する意識を醸成する。

###### ②困難に打ち克つことのできる忍耐力と課題解決力の育成

- ・耐える力、諦めない力、課題を解決する力を養う。
- ・学校行事や部活動、ボランティア活動等を通して、粘り強い気風を培うと共に健康でたくましい心と体づくりに励む。

##### (4) 活力と誇りのある学校

###### ①生徒が主体的に取り組む生徒会活動、学校行事

- ・生徒が主体的に活動できる力をつけるための場を設定する。
- ・生徒会活動の活性化により勝田中学生としての自信と誇りを培う。

##### (5) 内外に開かれた、信頼される学校

###### ①情報公開と説明責任

- ・HPや各種通信、学校公開等、あらゆる機会を通して学校を開くとともに、学校の方針を伝える場を確保し、地域とも**つながる**。

###### ②「かつたっ子15の春プロジェクト」

- ・園、小学校から中学校への**つながり**を意識し、かつたっ子の15年間の学びと育ちを見据えた勝田型一貫教育を実践する。

###### ③安全・安心な学校づくり

- ・生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校、保護者が安心して委ねることのできる学校、地域が安心して見守ることのできる学校を目指す。

###### ④地域と共に成長できる勝田中学校を目指す。（CSの推進）

◎「知」に関する項目

本年度の重点目標  
(目指す子どもの姿を示す)

「きける、(説明)できる、つながらる」を実現できる生徒の育成

| 年度当初の計画                                                                                                         |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 達成目標<br>(達成した姿・目標値と現状値)                                                                                         | 重点取組<br>(教職員の実践的な手立て)                                                                                                                                                           | 取組指標<br>(誰が、頻度、確認の方法等)                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>「ペア・グループ学習により、新たな考えを発見したり、自分の考えを深めたり広げることができている。」の「よく当てる」と回答できる生徒の割合を増やす。(生徒アンケート)</p> <p>※「きける、(説明)できる」</p> | <p>・目標に応じた交流場面を設定し、意図的に交流させる(可能な限り短時間でも行う)。<br/>・話し手や聞き手のポイントを明確に示す。<br/>・ペア・グループ活動が全てできない生徒を作らないようにする(国定化しない)。<br/>・交流の前後に、個人で考える時間を設定する。</p>                                  | <p>【研究主任・学力向上担当】考えを深めたり広げようとするための視点による相互参観週間を設定する。(1・2学期)<br/>【研究主任・授業改革推進員】授業改革推進員の模擬授業を全教員で参観し、授業交流する。(1学期の相互参観週間)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。①「グループ学習(ペア学習)」を取り入れた授業を行ったか」を教職員アンケートで確認する。(1・2学期末)<br/>【管理職・授業改革推進員】全教職員の授業を参観し指導助言する。(学期に1回以上)</p>                                                   |
| <p>目標値 肯定回答(よく当てはまる)100(80)%</p> <p>現状値 94(62)%</p>                                                             | <p>発問時に、一問一答で終わらずに、必ず「考えを」を広げる、深める。問い返しやクラスみんなで共有できる問い返しをして、生徒の考えをつなげたり、深める。<br/>・問い返し事例→「岡山型学習指導スタンダード(増補版)」P8参照</p>                                                           | <p>【研究主任・学力向上担当】考えを深めたり広げようとするための視点による相互参観週間を設定する。(1・2学期)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。②「一問一答でなく、問い返し時間がついているか」を教職員アンケートで確認する。(1・2学期末)<br/>【管理職・授業改革推進員】全教職員の授業を参観し指導助言する。(学期に1回以上)</p>                                                                                                                   |
| <p>目標値 100(70)%</p> <p>現状値 94(56)%</p>                                                                          | <p>視覚化・焦点化・共有化の視点を取り入れた授業展開を行う。<br/>・視覚化:具体物・画像・動画等、効果的なICT機器の活用。<br/>・活動の流れを提示<br/>・焦点化:分かりやすく線的な指示、学習内容に迫るための提示。<br/>・共有化:効果的なペア・グループ学習、問い返し時間、教師のしゃべる時間を減らし、生徒の活動時間を増やす。</p> | <p>【研究主任・学力向上担当】視覚化・焦点化・共有化の視点を取り入れた授業に努めるための視点による相互参観週間を設定する。(1・2学期)<br/>【研究主任・情報担当】Chromebookの効果的な活用について研修を行う。(夏休み)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。③「ICT機器やChromebookを使うと授業が分かりやすい」④「先生の説明は、短くて分かりやすい」⑤「友達と考える交流をする学習内容が分かりやすい」について生徒アンケートで確認する。(1・2学期末)<br/>【管理職・授業改革推進員】全教職員の授業を参観し指導助言する。(学期に1回以上)</p> |
| <p>目標値 100(70)%</p> <p>現状値 97(41)%</p>                                                                          |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

◎「徳」に関する項目

本年度の重点目標  
(目指す子どもの姿を示す)

他者とつながり、互いに認め合い、支え合い、高め合うことのできる生徒の育成

| 年度当初の計画                                                                                                                  |                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 達成目標<br>(達成した姿・目標値と現状値)                                                                                                  | 重点取組<br>(教職員の実践的な手立て)                                                                                               | 取組指標<br>(誰が、頻度、確認の方法等)                                                                                                                                                                                              |
| <p>「相手の気持ちを考えて、自分の思いを伝えようと心がけて、話をすることや、相手の気持ちや思いを正しく理解しようとして、話を聞くことができる。」と回答できる生徒の割合を増やす。(生徒アンケート)</p> <p>※「他者とつながり」</p> | <p>・年級の実態に合わせてSSE(ソーシャルスキルエディケーショ)を学期に2回実施する。</p>                                                                   | <p>【学活・総合担当】行事に合わせてSSEの実施内容を提案する。(行事ごと)<br/>【学活担当】各学年でのSSEの実施状況(実施日・内容)を確認する。(学期ごと)<br/>【教育相談担当】SCによるSSEの授業を企画・実施する(年間各学年1回)<br/>【研究主任】各学年でのSSE実施事例の交流する研修を行う。(4・8月)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。(1・2学期末)</p> |
| <p>目標値 100(80)%、100(80)%</p> <p>現状値 97(65)%、97(65)%</p>                                                                  | <p>・総合的な時間の学習を通して、身の回りの課題に気づかせ、関わり協力しながら問題解決の実現に向けて取り組ませる。</p>                                                      | <p>【総合的な時間の担当】年間計画にそった活動実施のマネジメント(通年)<br/>【文化・教育担当】クラス委員会の取組のスケジュール調整(4・10月)<br/>【文化・教育担当】人権教育年間計画にそった提案と実施状況の確認。(毎月)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。(1・2学期末)</p>                                                |
| <p>目標値 100(80)%</p> <p>現状値 100(71)%</p>                                                                                  | <p>・生徒会や生徒実行委員会が、企画・運営できる行事の取組によって、生徒が主体的に活動できる場面を作る。<br/>・目標を持って日々の生活や行事に取り組ませ、活動後の振り返りから個々の成長や集団としての成長を感じさせる。</p> | <p>【各行事担当】生徒の目標・目的・振り返りの時間設定。(各行事ごと)<br/>【生徒会担当】生徒の自治的な活動の推進。(通年)<br/>【各学年担当】生徒の活動を促介する。(通年)<br/>【教務主任】生徒アンケートにより達成指標の現状値を確認する。(1・2学期末)</p>                                                                         |
| <p>目標値 100(80)%</p> <p>現状値 100(71)%</p>                                                                                  |                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                     |

○記入上の留意点  
・必要に応じて行隔、列隔を減減すること。  
(達成指標は最大3項目まで、3項目目の枠は非表示になっているため、再表示して記入する。)  
・短文、箇条書き、体言止めなど可能な限り簡潔に記入すること。

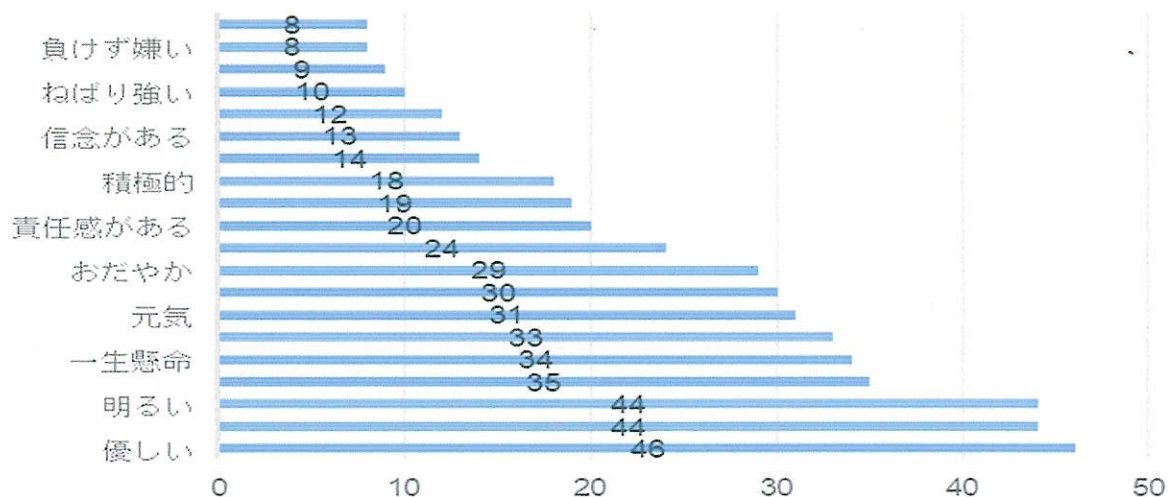
| 中間期の状況と年度末への課題                   | 今後の取組<br>(改善策や更に強化すること等) | 年度末の評価<br>(取組状況の分析・検証<br>(手立ての実行度等)) |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| <p>取組状況の分析・検証<br/>(手立ての実行度等)</p> | <p>中間期の状況と年度末への課題</p>    | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |

| 中間期の状況と年度末への課題                   | 今後の取組<br>(改善策や更に強化すること等) | 年度末の評価<br>(取組状況の分析・検証<br>(手立ての実行度等)) |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| <p>取組状況の分析・検証<br/>(手立ての実行度等)</p> | <p>中間期の状況と年度末への課題</p>    | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |
| <p>中間期の値</p>                     |                          | <p>年度末の値</p>                         |

## 1 回答数

生徒：40名 大人（保護者、地域、行政、教職員）：25名

## 2 勝田中学校の生徒のイメージ



\* 太字・斜字：複数意見、○その他意見

## 3 勝田中学校の生徒のよいところ

【大人（保護者・地域・行政・教職員）】

\*素直、純粋、素朴、真面目、優しい、あいさつができる、仲が良い、明るい、元気

○家族を大切にしている。

○やる気になったらみんなでがんばれるところ。

○掃除や係活動など協力してできるところ。”

○やらなければならないことはきちんとやる。

○自分の意見がはっきり言え前向きである

○明るく元気であいさつが良くでき気持ちが良い。人としての基本を持ち続けてほしい。

○落ち着いた授業態度

○真面目で友達の事も考えながら行動できて、クラスの男女や先輩との仲も良いところ。

○学校全体がアットホームなところ。

○任された事は責任を持ってやり抜く力がある

○上下関係があまりない所

○おだやかである

○友達思いなところ

○男女分け隔てない関係性

【生徒】

\*挨拶ができる、仲が良い（学年を超えても、男女関係なく）、協力できる、助け合える、

優しい（思いやりがある）、粘り強く頑張る、元気がよい、団結力がある（クラス、全校）

- 自分の決めた課題に一生懸命取り組むところ
- おおらか
- 何事にも積極的に取り組める
- 式典の準備などでは積極的に行動できるところ。
- 拍手ができるところ。人の話を静かに聴けるところ。”
- 相手の気持ちを考えている
- 遅刻が少ない
- クラスや学校を盛り上げる
- 生徒や先生の仲が良い

4 勝田中学校の生徒の直した方が良いところを記入してください。

【大人（保護者・地域・行政・教職員）】

\*自分から元気にあいさつしてほしい、積極的に行動してほしい、臨機応変に対応ができてほしい、切磋琢磨してほしい（競い合ってほしい）

- 整理整頓する。
- 外部の方が来たときに、萎縮していまい、反応を返すことができない。
- 自分の基準で物事の判断をする点。
- 新しいことに消極的。
- 自分から動けない（指示を待つ）。
- 固定された人間関係の中での生活のため、人間関係を再構築しにくい。
- 前向きに！
- 発表時の声が小さい気がするのでもう少し自信を持った方が良い
- 全体的に控えめ、もう少し明るい学校になれば良いかなと思います。
- きちんと敬語を使えるようになってほしい。
- 少人数の為、陰口を浸透させやすく、除け者をすぐ作ってしまうところ。

【生徒】

\*自己中心的、うるさい、自分からあいさつをする、あいさつや返事の声が大きすぎる、積極的に行動する、積極的に発表する、先生の話をしっかり聞く

- 休み時間など元気が有り余っているのか、落ち着きがない（危ない遊び）
- 盛り上がるべきところでおとなしい
- 積極的に活動しないこと
- 悪口を言うところ
- 勉強をしっかりする
- 諦めが悪いところ
- 講演会のときに積極的に質問ができる元気が足りない。”
- 人によって態度を変える
- 遅刻をなくす
- 一部だけど授業は真面目に受けてほしい。
- やることはとことん集中した方が良い
- 明るく元気に学校を盛り上げる

5 勝田中学校の生徒には、どのような生徒になってもらいたいかを記入してください。

【大人】

\*夢(目標)を持てる、向上心を持って努力できる、自分の考え(意見)が言える、地域に貢献できる、地域を愛せる、人間関係を自分から作れる、積極的に行動できる、明るく元気、思いやりのある人

- 良いところはそのままに、悪いところを指摘されたら直そうと努力できる生徒。
- 朗らかで何事にも自主的に取り組む
- 失敗を恐れずに、新しいことや困難なことに取り組んでほしい。他の人の考えをまずは受け止めて、ともに考え進んでほしい。
- 人数は少なくても、少ないからできる細やかな気配り、生徒と先生、地域との関わりを大切にしてほしい。
- 少人数の学校で人に揉まれる事が少ない環境ですが、臆することなく勝田中に誇りを持ち活発に活動して欲しい。
- どこに居ても故郷を愛し、ふるさとの行事や活動に参加したり思いを馳せる。
- 活発に自分達で行動的に活動出来たら、将来の為になるのかなと思います。
- 地域活動にもどんどん参加して、いろいろな人と触れ合える機会があれば良いなと思います。もっと交流をしてたくさんの経験をしてほしい
- ずっと続く友情を持ち続けてほしい
- 土地柄もあるのでこのままでも良いと思う
- 少人数だからこそ、個々の嫌な面悪い面も理解し受け入れ、力を合わせて助け合っていける関係性を築いてもらいたい。

【生徒】

\*積極的に行動する、ちゃんと挨拶ができる(自分から、大きな声で)、元気、明るい  
思いやりがある(親切、優しい、真面目)、自分の意見がもてて伝えられる、勝田中学校を盛り上げてほしい

- 自分のことは自分でできるようにする。
- 楽しい雰囲気だけどうるさくない生徒
- 世界を変えるような人
- 人の気持ちを考えられる人
- いつでも団結でき勝田中学校を盛り上げてほしい。
- 大きな声で返事が出来る
- いじめのない学校
- 社会に貢献できる人
- 笑顔あふれる
- 義感のある生徒
- 誰とでも平等
- 今の学校のイメージを保ってほしい
- 一人ひとりが自信を持てる生徒
- やるときはやるというように、けじめをつける。
- 誰が見ても恥ずかしくない生徒

美作市立勝田中学校

[illegible]